滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價値面議
從減　每張四百文

一フールスカツプ　仝
一中判洋紙　仝
一半紙罫紙　百枚　四十枚續
一卷紙　二十錢　十四錢

一卓子
一卓子掛
一廚房用戸棚
四圓五十錢以上三十五圓
六圓以上十二圓
七圓五十錢以上十圓

一長火鉢　八圓以上十二圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宣德火鉢　一對　六圓以上九圓

告示

大日本帝國營口監督與　爲
出示曉諭事照得貨財爲商業發達爲之資幣制實貿易繁興之具故必法歸畫一乃可通行更須製造無訛始堪信用熟考當埠幣制雜亂紛繁貴賤低昂莫知所向故有愛英洋錢有好人龍錢有擇大邊錢者他若抹銀錦寶小洋錢等製造不同嗜好各異不可名爲流通貨幣又不適爲公認法貨至於軍用手票大軍所用庶民咸悅今南滿洲到處通行當埠亦交易稱便然自平和克復後逐漸收回代以橫濱正金銀行牛莊支店鈔票關東總督告示確有明文橫濱正金銀行所發鈔票其持至該銀行兌換需用者立將品質九成色之銀圓兌換故自今未盡收回之手票與鈔票銀圓皆爲當市之流通貨幣用此等銀錢充兌買賣存欠各賬目實爲公認法貨其他貨幣除合意交易外不爲公認自示之後仰闔埠人等一體遵照勿違特示

右　諭　通　知

明治三十九年二月

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　大連　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話十番　支配人室
百八番　事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

長幸丸　三月廿八日着
山東丸　三月廿九日發　大沽、芝罘、門司、神戶行
橫濱丸　四月五日發　大沽、芝罘、門司、神戶行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ヘ前日午後五時マデ

營口代理店　旗昌洋行（電話廿六番）

三井洋行

●精製白砂糖新入荷物あり

啓者本行開創在中外通商各埠己有年歷所售棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷者

倉庫部

今回倉庫所在地（靑堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣箱標布手巾花市東洋緞子洋成鐘表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部

這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本號賜顧幸甚

總司理人田中賴之助謹白　電話　東店五五　西店一公

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人　葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚恩邇知之

正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意兼賣各制洋什貨糧石等此佈

營口西大廟街路北營乙第十二號

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撒那）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉　諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話架設中）

三井洋行經理

明治火險公司

本公司開立己久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議（電話六十六番）

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し夙に督促書を差出したるも尙遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし

營口　瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、
上等石炭

以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部　河岸通（電話五十二番）

聲明丟失滙票

啓者於清歷正月二十二日有營口永同和在阿什河買和順昌匯票兩張計該號昌字十七號永記名下　平銀五仟參百五拾兩整又拾八號功記名下　平銀二千六百七十五兩整均係二月二十五日准期營口付銀此票係於正月二十二日由阿着合盛信局悄營不料路中丟失今已向該營分號掛號說明此二票無論失落何人之手作爲癈紙望各中外　官商切勿收用特此登報以爲聲明

清歷二月二十四日

永同和主人啓

失票聲明

啓者本號於本月十四日接省城來電云有阿什河寶泉長在阿由和順昌匯安長記名下　平銀一千零柒拾兩整係昌字二十八號至營交與本號代取此票托友携營不意行至奉天車站偶逢匪人竟設僞局詐去當即寄電之後本匯主業已來營即至同興宏內廣和順昌該二家自昔頗有相契刻間己將此匯欵如數使出倘有　官商拾得此票者即作癈紙特此聲明

二月廿一日恒增通主人啓

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

一ケ月以內
一長期連掲減價面議

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞　再本十新到各種木料東洋炸子貞具價實以應各主顧局急之需

本主人啓

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小衣衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一槪俱全價値格外從廉克己、凡　中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、

大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

東清鐵道 裕和盛運輸局

（電話八十一號）

任東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧

總司理主人周鶴雲
運輸部主任高濱麟太郎
謹啓

丸重洋行 貨物運輸

本行前在營口蓋賣雜貨已有年今者經關東總督府之特准開辦東淸鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞

電話　營口四拾八番　牛家屯四拾六番

營口商業學校招入學生

宗旨　造成辨公實業家
學科　修身、漢文、詞章、習字、算術、圖書、地理、歷史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、体操
學額　五十名
資格　十五歲以上文理明通者
學費　特免惟寄宿舍生自備饌資餘者本校墊辦
入學　陰曆三月初一日

本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成効茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生

夜班　專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限

○欲覽各樣詳細章程可到本校索閱

聲明假冒

協泰昌與記絲號大有昌洋雜貨號外面並無作保等情近因同字號最多恐有假冒本號圖章特此聲明

本號主人白

電氣諸機械

大販賣

本店　天津日本租界電話二〇〇
支店　營口永世街甲二一五號（電一五四番）

三友洋行電機部

主任　朱牟田寅吉

自製煉瓦●瓦

並に各種石材販賣

營口青堆子

加州組

（電話八十六番）

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候

三井物產合名會社牛莊支店（電話六十六番）

●雜貨卸小賣商　附日用食料品
●菓子製造販賣商
●委托販賣商
●土木建築受負業
●瀛車積運送業

東洋號　新民府孫家街

東京電報

●英國貴賓御歸國　コンノート親王殿下は十四日日光御遊覽十六日御退京直ちに横濱解纜御歸國の途に就かれたり

●日露兩國の國交　露國皇帝陛下には舊の國交を思召され近々皇族一名と陸海軍將校とを本邦に特派せらる、由又我邦よりも皇族御派遣の模樣ありと傳ふ

●稅法調査會費否決　衆議院委員會にて稅法調査會費を否決す

●政友會の鐵道案可決　政友會は黨議を以て鐵道案を可決し大同俱樂部も同樣可決す

●露國領事着任　長崎駐在露國領事は去十四日任地へ到着せり

●專管居留地經營費　近々開港の八開港（此間電文不明或は漢口か）の我專管居留地經營費は百二十萬圓を投ずると決定せり

（以上三月十八日發電）

●法律案提出　法律七三號に代るべき法律案十七日貴族院に提出せり

（一）臺灣に於ては法律を要する事項は勅令を以て規定することを得（二）法律の全部又は一部を臺灣に施行を要する者は勅令にて定む（三）從來の律令は猶効力を有す（四）明年より施行す

●郡制廢止案の經過　郡制廢止法案衆議院通過但し貴族院にて行惱みの模樣あり

●滿博の出品協議　東京出品協會は十九日商業會議所にて滿洲博覽會出品要件を協議す

●大觀兵式委員長　陸軍少將石本新六氏大觀兵式委員長仰付けらる

●山本海軍大將の視察　山本海軍大將は佐世保吳竹敷大連旅順視察の途に就けり

●金鵄勳章授與數　日露戰役に關し金鵄勳章授與數十五日迄の總計三萬一千百五十八名に達せり

●郵船會社の歐洲航路　郵船會社の歐洲航路四月四日再開す

●落合參謀長の着京　落合參謀長十七日着京せり

●秦皇島還附條件　直隸省秦皇島に於ける我陸軍占領地還附に關し該地租借者清國土木興業會社の約諾條件中

一、會社は日本人の商工業上土地の租借購買するを妨げず

二、會社は均一の波止場稅を仕拂ふ日本商人に波止場使用の便宜を與ふ

といへる條項有り

●牛莊正金支店長　小田切萬壽之助氏營口正金銀行支店長と爲り近日赴任

●革命黨員の新聞發刊　長崎に滯留する露國革命黨員四月より自由と題する日刊新聞を發行すと

●臺灣の大地震　臺灣嘉義斗六に大地震あり

●清露兩使の會商　ポコチロフ十六日唐紹儀と會見し會議二時間に渉れり

●撤兵露兵の國境駐屯　確報に據れば露軍の撤兵國境に駐屯し居れり黑龍江沿岸には多數の兵營建築中なり

（以上三月十九日發電）

倫敦電報

●寺院目錄と農民の不安　佛國各地の農民は寺院の財產目錄調製の件に關し政府に對して不安の念を抱けり

●米國の鐵道珍事　米國デンバー、リオグランド間の滊車はポートランド附近にて衝突し四十名の死者を生せり内十五名は客車出火の爲めに燒死せるものなりと（以上三月十七日發電）

●暴動敎唆と諸會の解散　匈國政府は暴動敎唆の廉を以て行政委員會及び政党聯合團を解散せり

●使節派遣の否認　露國皇帝陛下が使節として大公を日本に派遣すべしとの報道はセント、ピータースボルグに於て否認されたり

（以上三月十八日發電）

雜報

●燕京短信（三月十七日 特別通信員）

●獨乙の撤兵と其離間策　駐獨公使廕昌氏は外務部に打電して曰く獨逸外務省北淸撤兵問題に關し本公使に向ひ日英米三國は極力撤兵問題に反對すと雖も我獨逸は他國行動の如何に拘らず斷然撤兵を行ひ以て淸獨睦誼を全ふして前言に符せしむべし亦我獨國撤兵によりて他のデ權を要求せんと欲する者ありと雖も我獨國決して此の野心なしと明言せり云々と蓋し日本は撤兵說に同情せしに關らず彼の事實捏造して日淸間の邦交を離間し亦淸國に尤も同情を表せる英米と淸國とを反目せしめんとする獨逸の態度は誠に吾人の注意に値する者ある也亦廕公使は其電報の末文に於て附加して曰く獨乙外務部は本公使に向ひ淸國外務部宜しく西藏の事に注意すべしと警告せられたりと

▲膠濟鐵道無線電信　獨逸は膠濟鐵道即ち山東鐵道沿路に於て無線電信設置の權利を得たり電政大臣袁世凱は鐵道用のみに供するを得との條件付にて許可せしも既に許可を得たる以上鐵道用以外に利用せらるゝは勿論なるべし

●駐和蘭公使陸氏の着任　新設淸國駐和蘭公使陸徵章は既に露國より和蘭に着任せりとの電報ありたり

●獨乙の對淸籠絡政策　獨逸政府の出洋大臣に對する取扱は頗る鄭重を極め歡待到らざるなしとの電報駐獨公使より電報あり是亦獨逸の淸國に對する籠絡政策なりと知るべし

●大連通信（三月十七日）

▲槪括的大連一般の景況　之れを營口に比較せんに大連の方ズント面白味の存在すべきを思ふナル程料理店とか稱する一種の女郎屋、而も設備不完全の淫賣宿　其他火事場盜賊的商估は皆荒村晩秋の光景を呈供したりと雖も生眞面目なる商店に否らす、殊に昨今寒威の緩ぐと同時に既に昨年に於て得たる貸下棲利地に住宅の建築を始めたるもの及び將さに着手せんと計畫する者此處彼處に見受申候、當地の材木商秋田商會に就て聞くに（貴地にも同店あり）既に二月中旬より木材即ち建築用材の賣行き劇かに增進いたしたり云々察するに營口商人の多くは浮足的なるに反し大連の商人は業を永遠的に劃してドッシリと尻落付主義なるあり、既に滿洲第一期の商業時代は去れり、第二期の時代に入らんとすこれより大連商業の面目は一新さるべきを信し申候

▲大連去來の旅客　日を追つて漸く多からむとす爲めに何れの旅館も皆繁昌いたし居候。

▲大連の遊廓と淫賣　大連の遊廓は市街を距る十二三丁、閑雅幽邃の地を擇んて劃せらる、實に某建築會社は數万金を投じて娼樓數棟を建築したる也、其結構見るべきあり、本年一月貸座敷取締規則娼妓取締規則等の發布さるゝと共に開業したるありて今や開店五戸娼婦五十余人ありとか、相應に繁昌し居れる由に御座候、而して此四月一日よりは從來默許せし（或は公許）市中の淫賣を嚴禁且嚴重に取締る由に御座候、百に垂んとする市中の淫賣屋なか〳〵に其筋の思召通りには參らさるべきも而かも結構なる御趣意に御座候、此警察風颸々荒むの時乃ち大連大恐慌の時に御座候、それかあらぬか其豫報に接せし白首共今や前線に敗走する者內地に凱旋する者日を追ふて多きを加ふるを見るとの事に御座候。（在大連安齋生）

●鐵嶺雜記（四）　扑捻生

▲店頭陳列の商品　邦人にして種々なる商品を店頭に陳列するも槪ね雜貨品なり而かも其雜貨たるや軍用向酒保品の殘品にして所謂淸人向雜貨の甚だ稀なるには一驚を喫したり偶々或る一二品を散見するも當用小口の品のみにて是に依りて淸人をして購買力を增加せしむる如きは遺憾なから皆無の姿なり然れとも昨今眞の實業家の來嶺し有力なる淸人と取引を開始せんとて運動中なりと云ふ

▲輕便鐵道　此地にて日淸人間に最も有力ある有馬組にては去月より鉄嶺迎江口に輕便鐵道を布設し日々二百臺內外の貨車を仕立盛に營業をなしつゝありと云ふ

▲主なる旅館　彼に記述したる如く此地にて旅館料理店專業の者は僅々六七軒にして就中最も完備せるは福屋、彌生館の僅に二軒にして他はアンペラ式構造の家屋のみなり而して其旅宿賃は上等一泊一圓五十錢晝飯二圓二十錢なりと之に徵しても營口より遙に安價なるを察するに餘あり

▲賤婦の來嶺　去る十二日一般婦人の禁制を解かるゝや其日奉天遼陽方面より約四十人計りの强尻來嶺し翌十三日百人餘の婦人一時に下車し是等婦人を見物せんとて停車場附近は日淸人の山をなし其壯觀なる事想像意外の珍事なり而かも其婦人たるや大抵は天草式のみにて銅色を帶ひデモ戰捷國婦人哉と思はれチャン先生等に對し坐ろ肩身の狹きを感し遺憾千萬の次第なり

▲料理店の悲境と色情狂　鐵嶺開放と同時に婦人も間もなく居住せらるる如く思料し例の一攫千金の輩か續々來嶺し家屋の改造其他種々準備等おさ〳〵怠りなく今や遲しと待ち受けたるも寃て事と越中褌は向ふから何とやらで其後二三ケ月間經過するも一向其模樣もなく中には中途にして折角大金を投したる家屋も他に讓り渡すあと隨分困難せし人も多く又一方にて交戰以來日本婦人の顏を見ざる勇士の方々とて一度び解禁となるや我れ先きにと各料理店に押し掛け其盲語其擧動丸で色慾亡者にして十二三日の如きは何れも客留めの盛況を呈したるも其割合收入金の少なきに至つては各樓主共大に頭痛を病み居れりと尙某樓主の語る所に依れは此地に移住する婦人數は少なくとも四五百人は下らずと而して登樓客の模樣を見るに商人は至つて少なく主に軍人或は鐵道員對手の由にて到底是等の客を以て生計をなす如き有樣にては妾一ヶ月間か思ひやらるゝへしと云ふ

●人物月旦

中村錠太郎君（上）　覆面郎

過爐銀を發行する銀爐も尙且つ銀行の一種に算入す可き者とせは現在の營口には合計三十軒の銀行あり、僅々七八万の人口に對し三十軒の銀行は不釣合も甚しきか如しと雖も就中其の二十八軒が銀爐と稱へらる副業的の支那銀行なるを知るに於て必すしも怪むに値せす銀爐の外に現存する銀行は露淸銀行支店と我横濱正金銀行牛莊支店則ち是也

抑も露淸銀行支店は今日を距る約十年の以前に於て營口に開設せられ最初の外國銀行として將た專制政府の機關銀行として手珠の如くに淸國銀行を扱ひ荒源望のるか如くに金融界を攪廻し偉大の勢力を示したるに其後ち更に露國の營口占領に遭遇し思切りたる其軍政の爲に又直接に間接に業務の上に非常の便利を收得し一層の勢力を加へて滿洲唯一の大銀行を以て中外に指目せられ將來に於ける勢力の增長殆んと豫測す可らさる者ありしか今次の戰役に依り露軍の營口退却と共に復た店を閉ちて難を避け此所に意外の頓挫を蒙たるは抑も如何なる宿緣乎日露の間若し交戰の事無からんか想ふに彼か今日の勢力は實に凄き者あらん唯た露國の連戰連敗は彼に一時事業の頓挫を與へたるに止らす乎和の恢復せし今日に當り、再ひ開業するに於て尙且つ戰敗國の機關銀行として宛も喪家の犬の如く悄々乎として唯々顧客要求を甘諾するに非らされは事務を繼續する能はさるに至れり、顧て度當年を回想すれは知らす、今昔の感果して如何

二十有八軒の銀爐は歷史の遺物として業務を繼續するも、今日に於ては宛も半身不隨の病人の如く喘々焉纔に公議會の保證に依賴して破綻を免る者將來想像すへきのみ

露淸銀行は其資力に於て其手腕に於て固より銀爐等と同視す可らす、雖も其現境は復た寔に以上の如し假令其支配人に神算妙策の施して以て信用と業務を恢復するに足るへき確實の胸算ありとするも、當年を夢るは絕体に不能なるへし而して復た單に强國の一機關銀行として恥しからさるに至るにも近き將來に於ては蓋し覺束なしと云はさるを得す

營口に現存する銀行三十軒、軒數に於ては寧ろ驚くに値するも、詮し來れは其二十九軒迄は歷史の遺物未開の紀念に非らされは、則ち喪家の犬然たる活氣無く勢力無く、信用無く、顧客無き連敗國の機關銀行也唯た最後の一銀行、即ち正金銀行牛莊支店あり以て此間に處し營口の面目を維持す、想ふに營口今日の金融界は正金銀行支店の獨舞臺乎、正金銀行支店も亦た仕合せなるかな、此の仕合せなる正金銀行支店を預り以て營口銀行界の大立物として內外人一般の尊敬を受けつゝある者を誰れとかなす薄書推裏に其頭を沒し平然として人間生れて再びジウユとるなかれと放言して憚らさる中村錠太郞君即ち是れ

●香港上海バンクの出張所　營口現在の外國銀行は我横濱正金銀行牛莊支店と露淸銀行支店の二銀行のみなるか一說に依れは香港上海バンクも近々の中に營口に出張所を開設すと云ふ

●外國船の入港　過日來の暖氣にて遼河愈々解氷を初め昨今に於ては流氷も彼所に一塊此所に一塊と數ふるに過ぎさる事となりたるか本日は上海廻りの外國船早くも入港すとなり果して入港せは實に本年の初入船也

●現在の淸酒數　營口昨年の淸酒高は約五千樽內外にて其內譯は鳳凰正宗千四五百樽、春駒約五百樽、澤鶴千樽內外、金露千樽內外東洋一二三百樽、金水二三百樽なりと云ふ者あり但し所謂腐敗の殘物は今日も尙此外に多少ありと知るへし

●昨今の商況　昨今商況は何等も依然として沈靜を免れざるも既に遼河も解氷せし際とて人氣に多少の活氣を帶ふるに至りたれは愈々船舶の出入するに及へは景氣も少々は直るに至らんかと云ふ

●鈴木氏の催眠術治療　森病院の醫長たる鈴木昌平氏か催眠術に堪能なるは一般の知る所なるか仝氏は今回愈々催眠の治療を開始し併せて其の傳習者には敎授をも初むる事となせりとなり因に催眠術は機能的變化の疾病治療惡癖の矯正記臆力の增進等に應用して殊に効能顯著なりと

●鐵嶺の稅金　何れも開放當時に於ては往々吾人の耳にする所なるが現に鐵嶺の如きは每夜の如く〇〇連中が各料理店に押し掛け牛飮馬食し其上は一夜の夢を恣にし萬一催促をなすとか或は待遇の疎なる如き事らば暗に脅迫荅間敷言を並べ之れには各店とも大に困難をなせりと故に一名之れを稅金と稱すと鐵嶺歸客　談也

●飛脚旅行（四）　朴捻生

いつも寢坊の大將も標題の如く飛脚てふ悲さに今朝は十時過ぎに目を覺まし朝飯を終るや直ちに暇を告け同人の紹介狀あるを幸に軍政署に中島通譯を訪づれんとて通行の日本人に軍政署の方面を聞きしが例に依つて某門街を右左と云ふ敎はれ方に仕方なくブラ〳〵歩き居る所へ市內巡視らしき憲兵に出遇ひたるも之れ迄の失敗に最早聞く勇氣も無く行き過てさんと思へども熟ら〳〵此人の人相を見るに餘程優しき相が自ら見ゆるの　一番物も試しだ尋ねて見やうとツカ〳〵傍に倚り其の道筋を問けば想像に違はず鄭寧に幸ひ僕も軍政署へ歸り途だ同伴しようと謂はれ心中大に喜び其人と雜話をなしつゝ步み居たるに君は內藤氏を知り居るやと問ふ余は未だ語を交へし事なきも時を見居りたりと答ふ然らば同人の宅へ行かうとの事に余も此地の事情を聞たし傍々內藤氏は北支那、北洋の通信をして居るとの事を聞きたれば或は此地の材料を聞かば參考にもならんと憲兵に導かれ氏が門を叩けば直ぐ樣面會を得て二三時間も種々の事情を話され再會を期して立ち去らんとすれば同氏の厚意に依り召使の人に余案內を受け無事に軍政署に至り早速刺を中島通譯に通して面會を求めたが今日は日曜日で官舍に居るとて奧まる部屋に案內され行き見れば尋ねる人は黑白合戰の眞最中であつたので仕方なく傍にて見物をなし其內に勝負も終りたれば始めての挨拶をなし種々の事情を聞かんと話を待ち懸けたる所俗に云ふ鼻で答へをなすと云ふ不埒千萬の挨拶振りに余の如き肝癪男は直ぐ心中何だ生意氣な奴だと思ひたれど尙忍んで聞かんとすれば當番を呼び余の目前にて晝飯を命ずと云ふ有樣にエー馬鹿者メ赤帽にサーベルが頭上に登つた沒遲漢最早採るに足らざる人間を對手にするの必要なしと思ひ一禮して其室を出で司令官に面會せんと思ひしも止めて關東公司の支店に至り三谷氏に面會せんと刺を通じたれども折惡しく外出中との事で他の人々より此地の事情を聞きて奉天を午後八時三十分の汽車で鐵嶺に向へり

●彼岸法要說敎修行　本日より來る廿四日迄一週間每日午後七時又廿一日ノ中日ニハ午後一時及七時晝夜彼岸法要

稅關手續

天氣豫報　營口地方　自三月昨日午後六時至三月本日午後六時

小說

新作小說 おとし胤（十六）　德田秋聲

何程春の日が麗に輝いてゐても、墓地は淋しい。そして幽寂である。其の淋しい共同墓地へ、今しも一ツの人影が現はれた。それは疑も無く健三である。そも健三は、何んの用があツて、今頃此の墓地へ來たのであらう。見れば、彼は草刈籠の中へ、桃櫻、澤山の花の枝を入れてゐた。

彼は、墓の奥へ進んだ。そして光の母御の墓の前に立停ツた。墓は昨日の朝、自分の立てた花と、昨日の晩景光の捧げた花とで蔽はれてゐた。其の花の中から、線香の煙が淡々しく立登ツてゐる。

「やー、」

健三は、驚いて眼を丸くした。線香は半ば燃えて花の中に立ツてゐるのであツた。

「誰だらう。」

と健三は、首を傾げずにゐられなかツた。何しろ光とは、たツた今村端で別れて來たばかりであるから、光が手向けたので無いことは能く解ツてゐる。

「然うすると誰だ。」

解らぬ、解らぬ。丁度光が、毎朝母御の墓に花を手向ける主が解らぬやうに、健三にも此の線香を手向けた主が解らぬ。

そこで健三は考へた。

「俺は、少し故があツて、讓さんに秘して、毎朝此のお墓へ花を手向けて行くけれども、俺の他にも、此樣なことをする奴があるのかな。誰だらう、誰だらう。其奴は誰だらう。また何樣な故があツて、此樣な眞似をするのだらう。」

其の故を考へると——自分の心に引較べて考へると、健三は今迄覺の無い不快と苦痛とを感じるのであツた。今迄覺の無い苦痛と不快！……

……何んだか胸を掻むしられるやうな苦痛、百合の花を折らうと思ツて蛇に驚かされたやうな不快。此の苦痛と不快の味は、大概の人は若い間に一度味はうことがあるものだ。

健三は、此の朝、何時ものやうに、淸い心、美はしい感情、愉快な希望を以て花を手向けることが出來なかツた。何か疑ツて、何か怨むで、そして何か悶々して花を手向けて、それから墓の前にうづくまツて合掌瞑目。心から光の母御の瞑福を祈ツた。此の禮拜が濟むと、

「阿母さん、光さんの阿母さん。尊靈は、此の線香を手向けた者の心を受けられますか。私はもう、尊靈に花を手向けることが出來なくなツたのでございませうか。私は乘てから、尊靈にお願申して置いたことがあります………私がえらい者になツてから光さんと一ツ家に棲はせて下さるやうにお願致して置きました。雖然他に………此の線香を手向けた者が、私のやうなお願をしてゐるとすれば、私は何うすれば可いのでございませう。」

と心の中に述立てながら、其の答を待つやうに、墓の表面を瞶ツた。墓は冷に寂としてゐた。

そこで彼は立起ツだ。そしてまた首を傾げて考へた。

「何うしやう、うすれば可いだらう。」

胸の切ないことは、顏色にも見えてゐる。眼は深く憂を持ツて、吻ツと吐く息は謂はれぬ苦悩を吐く。彼は殆ど前途の光を消されて了ツて、急に闇の中に身を置いた心地。

林の中には、小鳥が爽な朝の空氣を吸ひながら愉快さうに啼いてゐる。其の美しい聲を聞いても、健三は何んの感興をも催さぬ。心は石のやうになツて、たゞ眼ばかりが働いてゐる……

ふと見ると、林を漏れて來る日光が、墓の上に銀のやう閃いてゐる………其の閃く光の中に何か物がある、健三は、何んの考も無く眼を睜ツて其の物を見詰めた。熟く見ると、それは手紙だ。一封の手紙が墓の上に載せてある。そして飛ばぬ用心に其の上に小石を置いてある。

「や、手紙！………手紙が、何うして此樣な箇所に置いてあるのだらう。」

不思議だ、實に不思議である。彼は思はず手を伸して手紙を取上げた。そして其の表書を見て更に驚いた。

「猿島光樣、彼の者より。」

と讀むか讀まぬに、手先は顫へ出した。胸は早鐘を撞くやうだ。健三は突如手紙を引き扯斷ツて了はうとした。

●聞見錄　村上君は更に露國の大連經營を非常に罵倒して居つた世間では頻と大連の經營が大きいの何んのつて驚てるが自分は實見して其抱負の狹少なるに驚いたあれては天然の良港が泣いてゐるだらう成程一見した斗りては東洋の港灣設備の外知らない東洋人では一應驚くのも無理は無いかも知れぬが今日でこそまあ大きいとか太いとか云ふて居るが愈々仕事を初て港を利用する時に至ればアンナ設備では何にもならない、今日の設備は素人目に大きい樣に映ずるのは丁度空屋に殘つて居る、棚などの廣々しう見えるも同じだ入つて書物の二三冊も載せるとも直ぐ窮屈を覺えて來る、露國の大連設計亦恰も然りだ大きいとか何んとか云ふのを聞て實にチャンチャラオカシクてたまらない▲君は更に餘憤を露國の鐵橋に漏した、全体露國の遣方が癪に觸る停車場でも鐵橋でも軍艦でも一切万事凡てコケオドシだ露國の軍艦がみえ斗り張る爲に四本マストを突ツ立てゝ好んで彈丸を蒙り是れ見よと云はぬ斗りに船艦を高く鐵板で蔽ひ火災が起きて熱の爲に働きの自由を欠ぎ一世の物笑を受たる事は云はずもがな、滿洲に在る露國の鐵橋等を見るも同樣見え斗り張りて居る事が知れる、一見すると如何にも堂々そうに見らるゝが倩て能く就て其土台を調へて見るに膽玉の小さいと云ふ日本人でも憚る樣の仕事を澤山して居る、其手弱な事實に驚くばかりであるドウモ露國の仕事は凡てが外形斗りの樣だ成程左樣かも知れない（聞見生）

早春訪友（庚韻）　秦　灝年

宿酒初醒雪又晴　驪然吟杖出春城
瓊瑤踏遍尋知已　賦茗敲詩性各淸

同題　岩城　黄雨

蕭疎斑雪馬蹄輕　林外尋君十里程
料峭風寒春尚淺　韶光一半入吟情

同題　李　星閣

瑞雪繽紛喜午晴　春山春水總多情
欲尋高士雅居處　帷見老梅檻外橫

雲雀　大石稿　黄雨

むさし野の霞にもれて啼く雲雀
雲井にちかく何うたふらん

同　露月

すみれつむ乙女やしばし眺むらん
雲井に聲も高き雲雀哉

同　耕南

雲雀なくくもゐはるに眺むれは
かすみのやれめ聲もらしけり

●骨董錄、營口の水は鹽氣がある イヤ鹽氣のある所ではない鹽辛ひソコデ内地新來のお客などには櫻湯を出してお茶を濁して居る抔は細君の氣轉だ併し文口主義の細君は味噌醤油一二割德だと悅んで居るかどうだか（古色蒼然生）

廣告

故沖禎介　追悼の爲め江湖諸賢より玉はりたる詩歌書畫を編集上梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度く存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也
一、紙判は美濃紙大
一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、沖莊藏任沖縄縣那覇地方裁判所官舍
一、御問合の件あらは左に
新民府奈良崎八郎　營口瀛華學院上野政則　大淸通運公司安田貞藏
同志友人　敬白

弊店儀從來平野町に於て左の營業致し居候處此度商業擴張の爲左の所へ移轉仕候間倍舊御引立の程奉願上候
豐濟門街李俊の前
ペンキ塗請負京阪組

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

公告
電話交換加入者募集
當局電話交換加入希望の者は至急申込可し
追而二月十五日以前に申込みあるも未だ架設に至らざるものは重て申込を要す
明治三十九年三月三日
營口軍政署電話局

夜警決算報告
一銀二百六十三圓五十錢　二月分徵收高
內譯
一銀百五十圓　公議會ェ苦力費支拂
一全三十圓　新聞廣告料
一全二十一圓二十錢　領收書用紙、臨時雇員給料、帳簿料、
差引殘金六十二圓三十錢
右及報告候也
第一派遣所　夜警委員

營業　輸入　綿線　綿布　美國產各色綿布
輸出　洋蠟　豆　豆餅
本店大阪　和田保
牛莊分店　和田保
三月の商界
解氷前を氣構へ最も英敏なる神經的商氣配を現出可致十一月結氷期と二期當營口の商況を大動亂せしむるの樞機に御座候此際御一考御商談願上候

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄但其の入院を諾す（取扱主任産婆大道しげ子）
院主　森　篤
醫長　鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

●開業廣告
船舶貸借賣買周旋　貨物運送仲立委託販賣業
石炭販賣及輸出入業
門司四國や商會神戸代理店
神戸市榮町五丁目一七　西野商店
明治三十九年三月　西野通

彼岸法要說教
明二十一日午後一時より修行仕候間精々御參詣被下度御案內申上候
營口永世街通り二本町西へ入る南側
三月二十日　淨土宗布教所

北京　扶桑旅館
東單牌樓大街路西
客室淸潔　料理鮮新

本店　營口　彌生　電話四一番
支店　彌生　鐵嶺西門外大街
今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候
館主　宮下只七郎
一位置　西門より西の方五六軒北側に候
一構造　室内裝飾等日本式　特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣るとなし
一待遇　は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

料理　滿月　平の町（電一六二）
滿月支店　平の町（元都樓跡）
店主　吉本[illegible]

御旅館
天津　芙蓉館
駐屯軍御用　並西洋料理

千客万来
營口　菊水

奉天日本旅館　瀋陽館
家屋宏壯淸潔　接待優遇懇切
開放全時一開業
奉天小西門外十字路北

御手輕料理
一釜飯御一人前　銀五十錢
一湯豆腐一鍋壺　銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候
月　日
營口元神廟街二〇九號　翁亭

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町　日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町　日本館支店（電話十九番）
各位樣

材木 荒物 販賣

秋田洋行

營口永世街第一八四號小野町

本店 下關 秋田寅之輔商店

上海

中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造々廠訂有專館之約凡新聞紙料印書蔴各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙由木五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也

中井洋行

雜貨 醬油 木炭

すし米 清酒 大樽 半樽

營口西北街

阪神組

CARTRIDGES.

We have just received a large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

獵銃彈新荷着

第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候

但貸賣一切御斷申候

ブッシ商會

Yano & Co.

矢野洋行

電話一三七 Telephone No. 137

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間市價より極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

本家 日本東京神田鍛冶町 堀內大藥房

淺田飴（あさだあめ）

肺癆痰喘氣急傷風咳嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功

◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣

永世街 東瀛大藥房

房主 藥劑師中馬龍造

和洋雜貨及紙類 大販賣

奉天城內鐘樓南大路西

千賀洋行（電話 號）

石材、碎石 瓦、煉瓦

並に自家製造 廉價販賣

營口元神廟街四十號第二號

順吉洋行

醇良自釀清酒

札幌ビール 朝日ビール 日付貰大和

酢 醬油 瓶詰樽詰

菓子 鑵詰 色々

洋酒類

右取次販賣

牛莊港東營口

宅合名會社 營口支店

ゼム 財茉 口中香藥

ゼムハ著大ナル効能ト愛スベキ美味馥郁タル香氣ヲ有スル良劑

財茉者芳香馥郁而美味可愛靈約也

大日本東京 山崎愛國堂 大藥房處修

大清國發賣處 淺野大藥房

營口永世街（二本町） 各國有名靈藥 總發賣處

大日本政府特定

官製口付紙捲煙草

滿州一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

歐米各國最新流行形

西海洋服店

永世街一四一（森病院三軒目）

（電話百二十七號）

御旅館 豐陽館

上海（電話一〇六番）

日本郵船會社荷客取扱

歐米滊船乘船取扱

館主 米田藤吉

東營口郵便局東隣

島田洋服店

新民屯停車場前

同支店

工

飯塚工程局材料部

營口元神廟前（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道產松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

一日本石炭數種

美味安價西洋料理

永世街五十二號(湯の東隣)

牛莊亭

弊店の特色は第一廚夫の腕

第二は材料の精選

第三は輕便眞のオアシス

料理は普通上等特等の三種に分迅速に調理申べく候へども尚御好に應じて如何樣にても調理致し候又御通行の際御休憩御一服被下なば喜で御迎申候付ては諸洋酒コップ賣シガー壹本賣紅茶コーアコーヒー等御好に應候

旅人宿 東館

大連市信濃町卅九號地

特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

鐵嶺 西門大通

御旅館

福屋

御料理

汽車發著乘車乘船好位置

營口中央市場前

旅館 東京樓

店主 熊引兼次郎（電話百七十八番）

西洋料理仕出し御需に應ず

即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）

宮門抄

二十二日

商部　鑾儀衛　廂黃旗值日無引見　壽耆阿霖謝代進內大臣班恩　貴福錫瑗何彧　召見　吉和四伊子代進內大臣班謝恩

前廣西布政使張廷燎炳痊請客

召見軍機　貴福　錫瑗

商部遞封奏一件練兵處遞封奏二件

上諭恭錄

二十一日奉

上諭貴州威寧鎮總兵員缺着何秀楨補授欽此

論說

說新聞紙權力

權力者。晚近天下之公理也。權力威。則盛行于海外而不敢抗。權力衰。則雖在其國中。而有所不能行矣。外國報館。無有權力。究其所謂權力者。皆以國家之權力爲權力也。國盛則其報館之權力亦盛。其國衰。則其報館之權力亦衰。未有報館指斥其君父。而以爲權力者也。即未有不藉其國家之權力。而敢于指斥鄰國之君父者也。百餘年前。英國藍比鼓一報。極力醜詆法皇、醜詆云者。蓋肆口嫚罵。深文周內。不必切中法皇之行事也。按之公法。隣國之君。亦猶本國之君。本國之君。不可詆。鄰國之君獨可詆乎。詆之而彼無言則已。彼若嘖有煩言。其曲不將有在乎。此法人所爲發憤而訟之于英政府也。窃放英國之例。新聞有礙于法紀。法司可究其罪凡異邦有不合理之處。亦可以禁之不許通行。夫英可以禁人國之報。人即可以禁英國之報。乃主筆之迫而替。亞懼其理屈。延律師麥根託須。代爲申理。而法卒不勝。吾不知法之何以不勝。豈爾時尙無此例耶。抑有之而法人不知據以力爭耶。非也。法人雖據例以爭。而英可不听也。使法之權力大于英。則法可必勝。英之權力過于法。則法必不勝。觀畢士馬克爲法相。禁報館之瀾言。即他國新聞之詆及德事者。亦移書禁之。而人莫與抗。由其權力盛也。法人無此權力。安能禁人之無詆乎。然則法皇聽之爲是耶。曰。亦視其權力而已矣。吾力足以敵英。則報館自不敢曲爲之說。以取吾怒。力不足以敵英。固不如置之度外。而彼將自止也。且非必一概聽之也。吾力雖不能行之於國外。而猶可行之於國中。於此立一法焉。凡本國之民。猶閱本國之報。有不如約者。以違制論。使彼報不行於吾國。則即肆其狂吠。而吾無所聞。吾之民亦不至爲其所煽惑。如是則處之尤當。而威重亦無所損矣。若夫堂堂帝國。橫受詆誣。不能禁外人之不言。又不能禁吾民之聽人之言。而吾奸民之肆其狂吠。且受外人之保護。以顯與國抗。是豈復有公理耶。是非自失其權力耶。嗚呼。學校不興。工藝不立。民氣之不固。而不肖之徒。日以平權自由之說。浸灌乎人心。窃恐天下之亂。由此從始也。豈特損滅而已哉。法皇者。猶其小焉者也。

東京電報

●英皇甥陛辭回國　英國特派大使孔洛多親王於西三月十四日遊覽晃山之勝景小留二日再于十六日晉京陛辭由橫濱埠回國云

●日俄互派使節修舊交　自日俄戰爭以來兩國國交斷絕刻已復舊交因之　俄皇特派皇藩一名及陸海軍大員若干名　日皇亦簡派其懿親互修善隣之誼云

（以上西三月十九日發電）

中外要聞

●南昌教案消悉　外部堂憲與駐京法公使迭次會議江西南昌教案互相爭執是以連日與贛撫電信交馳日無間斷據贛撫電稱江西巾商極思抵制保全國體法公使謂該國領事電稱教士受虧過甚必須要求多款方可了結不然長向江西駐兵以自行保衛云云

又聞官場人云日昨政府大以南昌教案爲憂江西巡撫不能咎無胡撫處分則以降三級調用云

●法律學堂開工之期　法律學堂地基已擇宣武門內象房橋西迤北荒地一段昨由官工處丈量估價銀三萬兩擇定三月開工

●俄約緩結之原因　中俄開議以來俄執定周冕氏之約唐大臣以此約必廢互爭再四唐璞兩不相下昨聞外部可靠消息唐大臣拜謁慶邸懇求另擇幹員與俄使開議免悞大事云云慶邸勸慰良久始回　又聞唐再與俄使開議請瞿大軍機一同前往云

●求外部差　出使大臣孫寶琦日前至慶親王府求賞外部差使聞慶已允許

●俄派訪員　聞俄館消息已密派人前往東三省及蒙古各地探訪事件現璞公使俟得確實回信再與中國開議

●商設開埠事宜　日前外部堂憲與海關赫稅司議商開闢商埠事宜聞赫稅司以商部訂妥開放章程再行到署閱看內中儻有不妥再爲會同酌改

●教習所開講大清例　聞外城一巡西分局委員前在彰儀門大街設立教習所招集各局巡捕五十餘名每日令司事等宣講大清例典以備開通風氣教化愚民現在約有成效所有該所一切經費皆由各委員捐資備辦以便推廣云云

●擬撥天津漕糧數目　聞直督袁制帥擬定嗣後解撥天津水師營及滄易二州漕米一律停止隨屬應將北倉之例抽掣挪埠按從前抵道章程給與價值以濟回空其餘剩之米仍令交倉年蔵撥天津各等處原備三升八合領米責令一併交倉作正開銷云云

●王公官員及內監領白粮數目　聞政府擬定江浙二省輸納白粮較漕米費用繁重諭戶部堂官詳核據覆歲運白粮例應二十二萬餘石太常光祿二寺及各館需用二千餘石其王公官員俸米約需十五六萬石內務府禁城兵丁及太監食用等項應需萬石所有餘存五萬石一併存儲各倉

●整頓驗看月官之弊　聞軍機大臣會議諭吏部堂官所有每屆奏派驗看月官一節務令欽派大臣整頓辦法不准私有冒名頂替之弊飭令報到人員各拍一像送交軍機處存案以備將來查核相符云云

●新購製造鴉片機器　北洋大臣已定議鴉片專賣之法擬從英國購買製造鴉片絕大機器其價額需百四十萬元計此等製造機力每日能造鴉片烟三萬斤按目下計劃實行專賣法則每年可得一億圓此亦國家之一大利源也

雜報

●照請准予紅牛出口　閩督崇佑帥前曾電致外務部請飭禁各商購運紅牛出口經部電復允准在案乃廈門英商以定購牛隻在前今遽禁運出口並未先期出示以致虧累難堪等語電稟英使照會外務部懇請通融辦理准予出口云

●允俄探夾皮溝金鑛展限　俄使邀求開採吉林夾皮溝鑛產一節探聞係由俄商於光緒二十七年邀求開辦已察前將軍長順允准訂有開採該金礦合同嗣因期滿俄商尙未開辦外部聲明原訂合同例應作廢俄使邀求展限外部初不允認因俄使再三邀求並稱英國在四川之江北廳開採煤礦期滿展限一年擬援例將夾皮溝金礦亦展限一年如屆期再不開辦原有合同作廢云云聞外部已經允認照辦矣

●增租病民　據錦州特別訪員來函云錦屬墾務行局爲清丈庄頭旗地改議增租利至二分有餘押民戶鎬工押價皆民膏民脂所存置之不問似於體恤生民之道猶有缺點故衆論沸騰謂民戶坐失其所有權而庄頭忽獲意外之利益熱心地方事者必於此三致意矣

●懷金買禍　昨聞海城人來云附城東南八里河子村中有一曲姓旅店前屋宿留行人後住眷口旬前某夕先有九人同來投宿內屋繼來一推命瞽者并挑沙釜脚夫等共宿外屋末來一夫某甲行囊纍重强附於內屋宿榻晚飯後主人扃鍵店門歸宅約及三更脚夫俱已酣睡而瞽者痛痳之中遽聞內屋撲刺嘎呀一聲後乃聲寂瞽者疑有他故乃佯爲便溺下床杖出故將挑夫沙釜踏碎脚夫覺而怒要瞽賠咮聒不休主人聞來排解既而瞽託便溺暗拽主人出以竊告悉述所聞之狀便敎主人踰垣出彈壓兵卡具訴一切遂來卡兵二十名持械杜門託查店簿及查內屋甲跡不見遍室冥搜將炕瓶掀揭啓視則甲已肢解其中遂幷縛五賊各於囊中搜出寶銀一錠外有手槍利刃等具兵等毒拷五賊一一供認幷將賊等拘送於城內衙署云云

笑林

●西席無酒　粵城寶華坊某甲家頗豪富惟性太鄙吝生子一於今年正初延師敎讀開館之日備席不備酒謂經歲習以爲例恐破費不貲師銜恨在心其學生方讀論語師點書至首章不亦悅乎不亦君子乎及三章而不忠乎而不信乎傳不習乎等句概將乎字用朱筆抹去學生背誦此兩章書皆無乎字某甲從旁聽之深爲詫異及命子持書本閱之乎字已經抹去某甲囑其子問故於師師曰汝父待西席無酒壺似可不用了壺乎（同音）　甲大爲慙沮自是朝夕兩餐皆備酒焉

●東家別烟　粵省某署延請各幕友每日所供煙草暗分幾等刑錢穀供雪茄捲烟帳供房棉烟書啓供潮煙敎讀並本地煙而亦未嘗供給敎讀某幸無嗜好但各至則太難爲情命僕出署購烟動延數點鐘之久煙至而客已告辭敎讀痛惡東家仍抹去乎字之法行之學生四子書上如天地位焉萬物育焉魚鼈生焉貨財殖焉有民人焉有社稷焉始舍之圉圉焉少則洋洋焉諸焉字皆令學生莫讀學生急問其所以然師語之曰一切煙已被別席享盡書房內如果喊寃又成何道理寃煙焉皆同音子立告其父父即命備各色煙送入書房向師拱手謝過再三

NEWCHWANG, TUESDAY, MARCH 20, 1906.

THE RUSSO-CHINESE CONFERENCE, (PART X.)

China, with all her vast resources and population, occupies to-day a junior position in the Congress of the Powers. None the less, being an independent state, hampered as she is with a few disabilities such as extra-territoriality, she reserves a perfect right in making free choice as to *where to apply for the supply of the required talents to*, *and which Governments to raise the needed funds*. There being nothing of the nature of a concession in either, none of the other Powers, supposing that they are excluded in favour of the Three under recommendation, will be able to advance a cogent reason for claiming an equal recognition on the two. Both may be called 'favours,' inasmuch as they are marks of confidence and trust. Let China repose all the confidence and trust in whoever has earned them, no other Power can lodge a protest against it or demand an equal share in them, before she herself has first established her own worthiness of them, not by acts of shallow, make-belief friendship, but by the attitude of the spirit and heart that has been determined out of the fixed principle of justice and humanity and has not been assumed merely as the means of winning China's undeserved confidence by veiling the secret design of selfish aggression.

All the Senior Powers may expect alike in the diplomatic relations with China, as a peace-loving junior honestly struggling to rise to their own high plane, every friendly courtesy and respect tuat she owes them, in strict observance of the existing treaty obligations. But, even the 'Most Favoured Nation Clause that is too often barbaric in its operation upon the juniors, cannot but stop short of coercing her to place a trust of such far reaching significance in the wrong quarters. So long as she can fall back on the glaring bitter experiences in past intercourse to base her choice upon, she may, without giving cause for a just provocation, politely but firmly insist upon the exercise of her unquestioned right of option in withholding trust from some Powers who will have only themselves to thank for it.

She may, frankly say to them: "I have a debt of gratitude to pay back to the Three Powers. Granting that they are willing, I wish to borrow money and good men from them to give me a lift out of the bad fix I am in." And so there will be an end to her trouble by keeping herself in the safe haven of the Triple Shelter, till she is fully prepared to brave unaided any dangers on the stormy, treacherous sea abroad.

The lovely spring weather is here now, opening a work season for the gardeners who have divested the plants of their winter covers. The drifting floes in the River have been steadily getting less and the fore cast of local experts naming the 22nd. inst. as safe enough for incoming vessels appears to be daily confirmed.

Our assumption previously noticed that no shipping will be allowed to put in this year before the official declaration of the re-opening of the port, has turned out to be at fault, no such declaration being contemplated. Vessels will be entirely left to their own discretion in choosing their time of entry.

We are informed that the Newchwang General Chamber of Commerce will hold its 1st. general meeting of the year at the Newchwang Club at noon to day (the 20th.) Mr. Ross Thomson, Vice-Chairman, is to preside at the session.

Mr. H. A. Bush and his youngest brother, Mr. C. G. Bush are expected to return by sea in the first steamer from Shanghai.

It is learned that, with the concurrence of the Consular Body, Hongkong was declared "an infected port" yesterday.

The latest Tokyo telegrams advice us that H. R. H. Prince Arthur of Connaught, after seeing the famous Nikko sights on the 14th. inst, returned to Tokyo and proceeded on the 16th. to Yokohama to embark H. M. S. "Diadem" which weighed anchor on the same day. The Russian Consul appointed to Nagasaki has arrived at his post to re-open his Office shortly.

Lt.-Col. Yokura, the Administrator, who is due here in the latter part of this month, will bring with him Mrs. Yokura and their little boy, besides a lady interpreter and a few servants.

Mr. and Mrs. Sammons, Capt. Yotsumoto and Mr. Okabe were guests at a tiffin given last Sunday by Mr. and Mrs. Dunn.

時刻

塘沽至北京	上六、〇〇	下二、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、	下六、四五
唐山至山海關	上六、〇〇	上一一、五八
山海關至營口	上七、〇五	下四、五五
溝邦子至新民	上三、〇〇	下六、五七

明治三十九年三月十八日
永世街口　本願寺出張所

保管可申候
市場北三階樓　時計店ノ二階　宮原公司

豫報

昨日の氣温　昨年との比

日最高温度五十五度四　高五度四

最低温度三十六度七　高十七度一

旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 元銀行西三軒

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

京東 生蕎麥一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館 料理 金城ホテル 永世街百六十六號 / 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街

きるそば 第二更科 永世街の湯角

御料理 柳亭 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 一力 並溫泉 營口永世街 店主 堀万助 毎日新湯

和洋料理 松月亭 本店 營口元神廟街一四三号

和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉

御料理 會席 奉永館 主任 朝枝團桅

旅館 西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

和洋料理 遼東館 遼陽城內東

旅館 料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理 會席 來々亭 主任 石田清

奉天旅館料理屋案内

旅館 今天 奉天城內鐘樓南入る 奉天軍政署指定旅館

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡人街

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西門外北側 館主 吉（電話　號）

旅館 天祠館 奉天小西門外街北側 館主 荒川一松

旅館料理店 日の出樓 奉天小西門通（元紅葉館跡）（電話七號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西門外街南 館主 入（電話　號）

料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 井尾富次郎

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井

旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村 奉天に於ける日本風樂乃館は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適する様に相成居候御投宿の節は極便宜に御取扱可申上候以上

旅館 兼料理店 高館 奉天城外十間房第十五號

奉天城外廿四號高砂館支店 奉高館 館主 宇才智平

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外ナナ街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話　號） 主任 藤島初野

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

會席料理 三日月 營口警務課前南に入る

撫順炭大販賣 多少に不拘御用命被仰付願上候 金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居 新來 金城館料理部

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸ニ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ倶樂店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一海關手續
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
石鹼業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
大清通運公司 營口支店 營口西北街第二十七二號

諸鐵工製作 鐵山船舶機械鐵工 輕便鐵道附屬鐵工 土木建築用鐵材料 其外鑄物諸般 營口ブロツク紋定商會門東街 喜川鐵工場

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂ひ御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也 營口 旅館料理屋同業組合

新着の御知らせ

東京より 蜂印香竄葡萄酒、羊羹、味付海苔、旅行用トランク、手提鞄、御婦人足袋、謄寫版、眞筆版、コツピープレス等

其他 立雛印白酒、寄木細工、漆器、陶器、金屏風等夫れ〜產地より着荷仕り候

新到 各種皮包、皮箱、文具格、畫掛、畫漆茶机、畫漆茶盤、金漆畫屏、金漆鏡臺、眞筆版、謄寫版、極上麝香水、蜂牌香竄葡萄酒、

營口 加藤洋行（電話八十番）

官製口付莨、文房具 和洋酒類 白米 罐詰、菓子 藥品、雜貨 卸商 醬油瓶樽詰 防寒具、安價販賣 營口西北街 豐生洋行（電話十三番）

軍隊用雜貨 日用品雜貨 吳服太物類 化粧品類 陶器類 食料品類 卸小賣 其外新荷着精々安價販賣 石原商店 營口永世街七十號（第二市場東）

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 二石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭 ○亞鉛板 ○洋釘 ○干壚魚 ○石灰
喜久洋行 御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也 永世街八十號（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル 大連鐵道停場附近民政署前兒玉町

標子 木板 料木 發賣 營口青堆子 清水甯木局（電話九十四番）

爲替相場（三月十九日）
日本向 九十九圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）
天津向 一百〇二圓（百弗に付）
芝罘向 一百〇二圓

日本品最近物價表 加藤洋行
紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 仝 七圓五十錢
一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢
一塵紙 一圓七十錢
一狀袋 仝 二十枚綴 三錢二厘以上四錢 百枚 十三錢以上十八錢
室內装飾品及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十帖 六圓五十錢以上三十五圓
一暖爐 五圓五十錢以上十四圓
一疊表 二圓六十錢以上三圓
一薄様 仝 十枚
一麻緞通 一疊敷 八圓
一綿緞通 三圓
一由加多綫 仝 三圓五十錢 一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.
$4.80 per 6 months.

本紙定價
一枚ニ付 四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙
廣告 二十一字詰一行一回 銀二十仙